

科目名	国際農業論	教員名	むらかみ 村上 良一	開講 コース	作物生産 花 園 芸	1年次	後 期
<p>・目的と内容</p> <p>“金融肥大化”経済システムの下で、原油や穀物価格が実需とは無関係に価格が変化し、わが国の消費者や農業者は多大な影響を受けています。このように経済のグローバル化は農業・食料生産をも国際的な視点から把握しなければならないことを私たちに教えています。</p> <p>本講義では、まず農業・食料生産を理解する上で必要な最小限の世界経済に関する知識を与えます。続いて世界大で食料支配を強める多国籍アグリビジネスについてふれ、国際農産物貿易交渉と各国農政（日本・アメリカ・EUなど）のポイントについて講義を行います。最終的には、日本で生活する人々にとって自国の農業・食料生産がいかなる意味をもつのか、その発展にとって必要な施策は何かなどを考えられる知識と能力を身につけることを目指します。</p>							
<p>・授業計画 [単位数：2単位、授業週数：15回]</p> <p>[後期]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国際農業論の学び方</li> <li>2. グローバル経済と農業問題(1)</li> <li>3. グローバル経済と農業問題(2)</li> <li>4. 多国籍アグリビジネスと農業食料問題(1)</li> <li>5. 多国籍アグリビジネスと農業食料問題(2)</li> <li>6. 多国籍アグリビジネスと農業食料問題(3)</li> <li>7. WTO農業交渉と各国農政改革(1)</li> <li>8. WTO農業交渉と各国農政改革(2)</li> <li>9. WTO農業交渉と各国農政改革(3)</li> <li>10. TPPと日本農業(1)</li> <li>11. TPPと日本農業(2)</li> <li>12. まとめ</li> <li>13. ビデオ・DVD視聴</li> <li>14. 期末試験</li> <li>15. 試験講評と今後の学習についてのアドバイス</li> </ol>							
<p>・講義の進め方</p> <p>講義形式を基本に進めます。適宜ビデオ視聴など具体的なイメージを持ちやすくなるような授業を目指します。</p>							
<p>・試験と成績評価</p> <p>期末の試験を中心に評価の対象とします。また出席状況も加味します。</p>							
<p>・担当教員から受講生諸君へ</p> <p>一年生ということで高校生気分が抜けきらない人がいますが、一刻も早く大学生らしい学習スタイルを身につけるよう努力してください。</p>							
<p>・使用教材</p> <p>参考書：『グローバル資本主義と農業』農業問題研究会編(筑波書房)</p> <p>参考書：『グローバル化と世界の農業』中野一新編著(大月書店)</p> <p>参考書：『アグリビジネス論』中野一新編著(大月書店)</p>							